

タカハシFSQ-85/106ED用 電動フォーカサー取付け要領書

始めに

- ・モーター背面の手動ノブで操作する際はコネクタを抜いてください。
- ・通電時はモーター保持トルクでドロージュープを保持するのでクランプの必要性はありません。ノブハンドルは緩めるか取り外してください。
- ・出荷時はL型金具にモーターと固定ボルトを装着した状態です。5以降の作業はモーターを一旦取り外した方が作業性が良くなります。
- ・モーター装着のためにピニオン軸を固定しているボルトを交互に抜き取ります。交互に作業するために復元しますが念のために事前のピントノブの回転に対するドロージュープの動き（堅さやバックラッシュ）を確認しておいてください。



1. 装着後のイメージ

フォーカスマーター取り付け後は下部アリガタなどとの干渉を防ぐため写真位置をお勧めいたします。ファインダーを装着しない場合はモーターが真上になる位置が良いでしょう。

この場合ドロージュープクランプノブが下部アリガタと干渉する場合がありますが、その際はノブを取り外してください。



2. タイミングプーリーの取り付け

純正のピントノブハンドルを取り外し、タイミングプーリーと交換します。プーリーは写真のように本体と接触しないギリギリの位置まで差し込み、ベルトがかかる部分に加工したネジで軸に固定します。

その際、軸のカット面に対しネジが垂直になるようプーリーを僅かに回しながら締めてください。



3. ピニオン軸ブラケット固定ボルト1の取外

写真のように片側だけの固定ボルトを取り外します。

注：必ず片側のみ取り外してください。両側緩めるとラックとピニオンの噛み合いが変わります。



4. 固定ボルト取外部にスペーサー落とし込み

3で取り外したボルト穴（ザグリ加工部）に付属のスペーサーを落とし込みます。

スペーサー面はブラケットに対して約0.5mm高くなるのでモーター位置合わせが容易となるのとブラケットへの傷を防ぎます。



5. モーターの仮り固定

4で取外したボルト穴に付属のボルト(M4-40)を使いL型金具を取付ます。ボルトは強く締めてください。その際に片側のボルトが抜き取れるよう傾けて固定します。

注：写真ではL型金具にモーターが付いた状態です。この場合ボルトがモーター固定ネジと干渉するので一旦モーターを取り外した方が容易に行えます。



6. ピニオン軸ブラケット固定ボルト2の取外

3と同じ要領でもう片側のブラケット固定ボルト取り外し、そのボルト穴にスペーサーを落とし込みます。

7. L型金具の位置合わせ

写真のようにL型金具を回転させてブラケット固定ボルト2と穴位置を合わせます。

片側が固定されていますが少し力を入れれば回ります。

僅かに金具を持ち上げるようにするとボルト2に落とし込んだスペーサーに引っかかりません。



8. ピニオン軸ブラケット固定ボルト2の取付

ブラケット固定ネジ2を締めます。**注：同時に両側ボルトを緩めていないのでピニオンとラックの嵌合状態は変化しません。念のために微動装置側のピントノブを操作しながらドロージュープの動きを確認してください。**

事前の状態に比べ噛み合いが緩ければバックラッシュが発生し、強ければノブの回転が固くなります。その場合は、ブラケット固定ボルトの締め付けを調整してください。



9. モーター、タイミングベルトの装着

モーターを傾けてベルトを装着します。その後ベルトを強く張った位置でモーターを固定します。

メタルコネクタが好みの位置に来よう90度単位で固定できます。（写真と製品ではモーター接続部樹脂コネクタ位置が異なります）

ベルトが緩いと擦りによってバックラッシュが発生します。モーターを手で回して確認してください。最後にコントローラーのプラグをモーターユニットに接続します。

